

竹田印刷グループのサステナビリティ

サステナビリティ方針

2021年10月に策定した当社グループにおけるサステナビリティ方針は、「経営の基本方針」である社は、「当社が存在する意義」である経営理念、「信頼される企業であり続けるために」との想いで定めた行動規範を実践することであると考えます。

社は（経営の基本方針）

熱意・和合・奉仕

経営理念（当社が存在する意義）

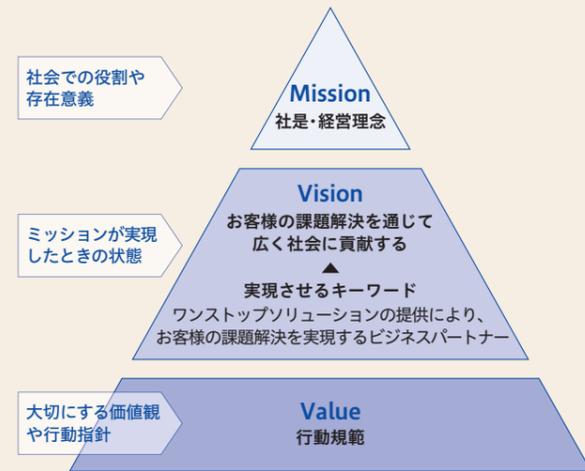
- Hard**：活動を支えるすべての設備を合理化し、高品質と高付加価値を実現します。
- Soft**：高い技術力と情報力を活かした創意あふれる提案で、お客様の抱える課題を解決します。
- Heart**：お客様の感動やよろこびをいつも考え、心をこめた製品やサービスをお届けします。

行動規範（信頼される企業であり続けるために）

- コンプライアンスの実現のために：**
責任ある行動をしよう
- 顧客満足の実現のために：**
お客様に感謝しよう
- 働きがいのある企業風土づくりのために：**
仲良く明るかに元気よく働こう
- グループの総合力発揮とさらなる発展のために：**
社運発展のためお互に協力しよう
- よき企業市民となるために：**
よき家庭の一員となろう

竹田印刷フィロソフィー（持続可能な社会の実現）

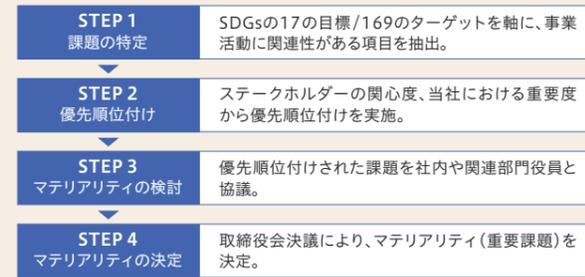
全員が共有して持つべき意識・価値観・考え方



マテリアリティ(重要課題)

私たちは、「社は」「経営理念」「行動規範」に従い、当社の成長を通じて持続可能な社会の実現に貢献したいと考えています。そのため、2019年4月に国連グローバル・コンパクトに署名し、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンへ加入しました。国連グローバル・コンパクトが掲げる4分野10原則を支

持し実行するため、SDGsで示されている社会的課題の解決や、ESG(環境・社会・ガバナンス)領域に率先して取り組み、全てのステークホルダーの皆さまからの期待に積極的に応えていきます。当社の取り組みをより活性化させるために、このたび11個のマテリアリティ(重要課題)を決定しました。



そして、11個のマテリアリティ(重要課題)の関連性を「事業活動を通じた社会的課題の解決」と「社会的課題を解決に導く経営基盤の強化」に整理しました。



マテリアリティ(重要課題)に対する取り組み

マテリアリティ(重要課題)に積極的に取り組むため、今後は事業戦略と連動した目標(施策・KPI)の具体化を竹田マネジメントシステムを通じて、進めてまいります。

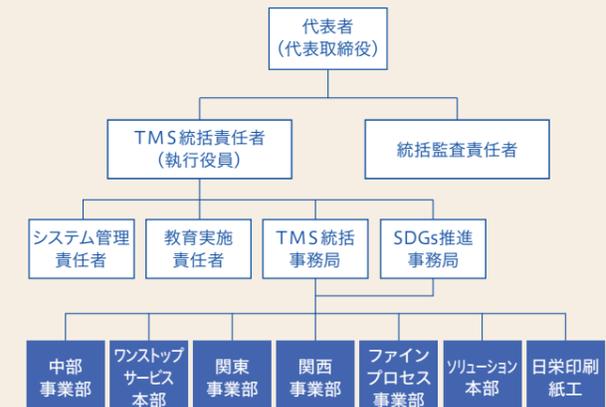
項目	竹田印刷経営理念	マテリアリティ(重要課題)	ESG	7つの中核課題(ISO26000)	主な取り組み	
事業活動を通じた社会的課題の解決	Hard	13 気候変動に具体的な対策を、15 陸域生態系の保護	E	環境	紙媒体とデジタル媒体の融合を推進 生物多様性および生態系の保護を含めた環境保全の推進	・ISO14001およびFSC森林認証の運用、管理 ・エシカルペーパーの提案 ・環境に配慮した印刷手法 ・限りある資源の有効活用 ・原材料、省エネルギー、大気への排出、排水および廃棄物などの管理
	Soft	9 産業と雇用創出、12 つくばる持続可能な消費、17 パートナリシップの促進	-	消費者課題	お客様満足度No.1企業に向けた取り組み お客様の課題解決を促進 お客様のコミュニケーション支援および販売支援 紙媒体とデジタル媒体の融合を推進	・ワンストップソリューションの強化 ・お客様の置かれている状況とビジネスモデルを深く理解する ・お客様との協業による社会的課題の解決 ・低コスト生産体制の構築 ・半導体関連マスク事業の強化 ・新事業の開発 ・ISO9001およびISO27001の運用、管理
社会的課題を解決に導く経営基盤の強化	Heart	3 気候変動に具体的な対策を、4 質の高い雇用を創出する、5 気候変動に具体的な対策を、8 働きがいも経済成長も、10 人や国の不平等をなくそう、16 平和と公正な社会を創出する、17 パートナリシップの促進	S	公正な事業慣行	サプライヤーの皆様と対等で公正な取引引き実施 良好なパートナーシップの構築	・技術、情報の相互交流などによる信頼関係の構築 ・改善策の推進による共存共栄
				労働慣行	多様な人材の活用推進 労働安全 健康経営	・様々な教育制度により社員の能力向上やキャリアアップを推進 ・福利厚生などの諸制度による社員や家族の生活をサポート ・労働災害発生防止の徹底
				人権	ダイバーシティとワーク・ライフ・バランスの推進	・女性活躍のための制度の充実と社員の意識改革 ・実労働時間の短縮 ・生産性を高め場所や時間に縛られない柔軟な働き方 ・仕事とプライベートの両立と質的向上の確立などの働き方改革を推進
				コミュニティ	地域社会との信頼関係の構築	・安心安全な地域社会づくりのための地道な地域貢献活動の継続的实施
			G	組織統治	透明性のある企業としてコーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底	・経営の透明性と健全性の確保、迅速な意思決定と適切な事業遂行 ・法令順守と倫理の確保などに向けて組織管理体制の確保 ・コーポレートガバナンス・コードへの対応 ・ISO27001およびPマークの運用、管理
					株主、投資家の皆様への対応	・適時適切な情報開示の実施 ・株主、投資家の皆様との対話

推進体制

竹田印刷では2016年4月より、ISOの3つの規格9001(品質)、14001(環境)、27001(情報セキュリティ)およびJIS Q15001(個人情報保護)のマネジメントシステムを統括して、TMS(竹田マネジメントシステム)として運用をスタートしました。

中部・関東・関西の3地区を7つのブロックに分割し、各ブロック単独でもマネジメントシステムが運用できる組織体制を構築しています。

統括責任者の下、毎月開催される全体統括会議において、各ブロックおよび各責任者からの報告を行い、運用・管理しています。また、定期的に代表者によるレビューを実施し、継続的な改善を行っています。



竹田マネジメントシステム基本方針

私たちは、品質、環境、情報セキュリティの活動に対し、竹田マネジメントシステムを確立し、企業活動を通じて社会への貢献を目指します。

- A 品質**
いつもお客様の立場から企画・提案を考え、独自の手法で品質の向上並びにミスの削減に努め、お客様の期待に応えるファーストコールカンパニーを目指します。
- B 環境**
紙媒体とデジタル媒体の融合を推進し、限りある資源確保のために資材や生産エネルギーの有効的な活用と廃棄物のリデュース、リユース、リサイクルに努めます。そして、気候変動の緩和及び適応、並びに生物多様性及び生態系の保護を含め環境保全意識の向上を図り、環境への負荷を減らす取り組みを積極的に行い、環境汚染の予防に努めます。
- C 情報セキュリティ**
適用範囲の全ての情報資産を脅威から保護するため、マネジメントシステムを確立し、その導入、運用、監視、見直しを実施することでリスクを適切に管理します。
- D 教育・訓練**
竹田印刷(株)で働く又は竹田印刷(株)のために働くすべての人々に対して教育・訓練を定期的実施し、すべての人々がレベルアップに取り組み、お客様をはじめ利害関係者の信頼に繋げます。
- E 順守**
竹田印刷(株)で働く又は竹田印刷(株)のために働くすべての人々は、関連する法規制、業界規範及び、お客様の要求事項を順守し、本方針を維持するために策定された手順に従い、行動規範とルールを守ります。
- F 継続的改善**
重大な障害または災害から事業活動が中断しないように、予防及び回復手順を策定し、定期的な見直しをいたします。また、適宜、環境の変化に応じた見直しを実施し、維持及び継続的に改善を行います。
- G 周知**
本方針を文書化し、啓発活動を行い、竹田印刷(株)で働く又は竹田印刷(株)のために働くすべての人々に周知するとともに社内外に公表します。

SDGsへの取り組み

再生可能な素材への切り替え

紙製ストローで脱プラスチック

環境負荷低減を实践するため、紙製のストロー「タケダストロー」を開発して商品化しました。中国で包装資材の企画・製造・販売を行う上海竹田包装印務技術有限公司が製造にあたり、衛生管理には半導体関連マスク事業のクリーンルームで培ったノウハウが活かされています。品質についても3つの検査機関での検査によって保証されています。



子どもたちの豊かな未来のために

知育教材アプリによるプログラミング教育

コミュニケーションロボット「ロボホン」を活用した知育教材アプリ「ロボキッズパーク」を開発。学習・遊びの独自ソフトを使って、子どもたちの好奇心・探求心・やる気・感性を刺激します。ICT(情報通信技術)機器を通してAIやIoT技術を体験するだけでなく、自由な発想でさまざまな遊びを創出する今までにない新たな幼児教育を提供します。



フードロス削減と飢餓ゼロをめざして

企業向け防災備蓄品のリユースサービス

世界中で7億人以上が貧困に苦しむ一方で、日本の食品ロスは年間600万トン以上となっています。私たちは公益社団法人 日本非常食推進機構と協業して、企業の防災備蓄品のうち消費期限が近づいた物を回収し、食料を必要とする人につなぐリユースサービスを展開。フードロス削減と社会福祉に寄与しています。



地球の限られた資源を守るために

梱包材の工夫と保管による廃棄物削減

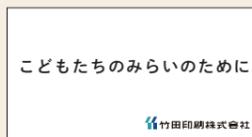
半導体関連マスク事業では、拠点間で材料・部品・製品を輸送する際の梱包資材を通い箱にして梱包材を削減し、温湿度管理を徹底した保管型物流サービスによる廃棄ロス削減に貢献しています。またテクノセンター内の電気使用状況を見える化し、省エネ活動にも取り組んでいます。



SDGs Topics 地域社会とともに

名古屋港水族館法人サポーター制度に登録

2022年3月22日、名古屋港水族館法人サポーター制度に登録しました。この制度は、生物保護などを通じて名古屋港の発展に寄与することを目的とする名古屋港水族館の活動に賛同を示すものです。ノベルティなどを扱う当社が脱プラスチックへの意識を高めて脱プラ製品の提案を推進していくことは、海洋汚染の減少や海洋生物の保護へつながります。



名古屋港水族館掲出プレートイメージ

東山動植物園の動物スポンサーとして契約

2022年4月1日より、東山動植物園の動物スポンサーとなりました。期間は2023年3月31日までとし、スポンサー料は絶滅危惧種であるシセンレッサーパンダの餌代に使用されます。この取り組みにより、東山動植物園の正門付近およびシセンレッサーパンダの動物舎に、動物スポンサーとして当社名が表示されます。



対象動物舎スポンサー表示イメージ

SDGsに関わる認証の取得および登録

■2021年12月

「なごやSDGsグリーンパートナーズ認定優良エコ事業所」に認定

本社・本社工場、高辻工場、テクノセンターが、名古屋市より「なごやSDGsグリーンパートナーズ」の中でも最高位である「認定優良エコ事業所」に認定されました。



■2022年1月

「名古屋市SDGs推進プラットフォーム」に会員登録

この活動は、SDGsの理念を基に持続可能な地域・社会づくりに取り組む企業等を会員とし、各会員の取り組みを発信するとともに、産官学民でSDGsを推進することを目的としています。当社もこの活動に賛同し会員登録いたしました。

■2022年3月

「愛知県SDGs登録制度」へ登録

この制度はSDGsの達成に向けて取り組む企業・団体等を登録し、その取り組みを「見える化」することで促進を図ることを目的としています。弊社の取り組み事例も愛知県Webサイトで公表しています。

特殊詐欺被害防止のハンドブックを寄贈

2021年10月15日、地域貢献活動の一環として、特殊詐欺被害を防ぐためのハンドブック1,000部を印刷し、昭和区防犯協会(名古屋市昭和区)に寄贈いたしました。このハンドブックは高齢者と接する家族や民生委員などの方々に特殊詐欺の手口を知ってもらうとともに、被害者となりやすい高齢者に注意を呼び掛けるものとして作成されています。今後も“気軽に確認できる”という紙媒体の良さを活かし、「印刷物のチカラ」で地域貢献活動を推進していきます。



障がい者アートの活用

障がいのある方の芸術・文化活動の応援を通じてダイバーシティ&インクルージョンを推進しています。

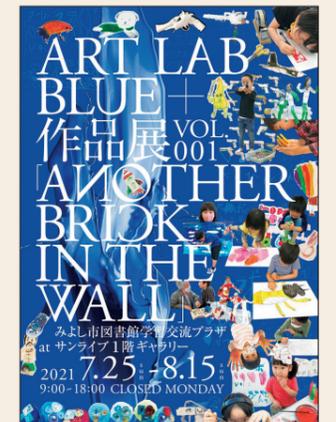
ART LAB(BLUE+)作品展への協賛

2021年7月25日、ART LAB(BLUE+)様へチラシのデザインおよび印刷物の提供をいたしました。ART LAB(BLUE+)様は、学校になじめない子どもや特別支援学校で頑張っている子どもたちが、アート制作を行っている場所です。このたび作品展が開催されるに当たりチラシの提供を行いました。

また、2021年12月1日から25日にかけて名古屋市千種区で開催されたART LAB(BLUE+)と福祉施設ヨナワールドによる作品展にも協賛いたしました。作品展ではヨナワールドの利用者によるアート作品が展示され、当社はDM(はがき)のデザインおよび印刷を無償で提供しました。



DM(はがき)



チラシ

名古屋市図書館×竹田印刷 地域連携プロジェクトを実施

名古屋市図書館と当社は、障がい者アートを活用したブックカバーとしおりを、名古屋市鶴舞中央図書館の1階展示スペースにて2022年4月2日から無償配布しました。このプロジェクトは、地域住民に様々な情報を提供し誰もが輝ける社会を創造することを目的に実施しており、またストーンシート*を使用することで、地球温暖化抑制にも貢献しています。

*石灰石を主原料とした環境配慮素材。完全防水で破れにくく、可燃ごみとしても処理できる。



しおり



ブックカバー



ポスター